

こおろぎ

発行日 2006年8月1日 **No.162**
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

100kmマラソンに学ぶ

6月25日に、今年の元旦に挑戦を決めた「サロマ100kmマラソン」を無事完走してきました。

おそらく私を知らない人は「100km走る」と聞くと、「杉井さんは、走ることが好きなんだ」と思うかもしれませんが、私は子どもの頃から長い距離を走ることが大嫌いでした。特にここ数年は、大学と仕事の両立で全く運動していませんでしたので、体重も過去最高に増え、ろくに走ることに出来ない身体になっていました。

しかし、体重が増え、走ることが苦手な私が、半年間で100km走れるようになったらスゴイと思いませんか？

先月号で「劣等感」について書きましたが、劣等感が強い人は、「今の結果」で自分を測るため、(1)出来そうなことには挑戦するが、出来そうもないことには挑戦しない。(2)すぐに成果がでそうな努力はしても、結果の見えないコツコツとした努力を続けない。(3)成功したときに手に入るものが、ほしいものでなければ挑戦しない。(4)ほしいもののためには、手段を選ばなくなるという傾向があるようです。私は、経営の指導やカウンセリングの仕事をしているので、人の相談にのる以上、私自身が会社を営み、苦手なことに挑戦していなければいけないと思っています。

時々、「100kmを走ることと、経営とどんな関係があるの？」と言う人がいますが、こうした人の多くは、「自分に得になること」を求めている気がします。しかし、私はその考え方自体に矛盾があると思っています。私は「経営とは与えること」だと考えているので、私が100kmマラソンに挑戦することで、誰かが「私にも挑戦することは出来るし、やり方によっては出来るかもしれない」と思ってもらえたら、それだけで十分な価値があると思うのです。

多くの人は「売上を10%上げる」という出来そうな目標で苦戦しています。それは出来そうな目標だから「従来のやり方」のまま、「出来るだけ」というやり方で挑戦しているからです。普通にやったら出来そうもない目標だから、出来るやり方を本気で考え、日々、真剣に取り組むのではないのでしょうか？半年間で100kmを走れるようになる練習方法は、仕事の上でも役に立つスキルだと私は思うのです。

半年の間には、足を痛めたこともありますし、疲れが溜まって「なぜ、こんなことをしているのだろう？」という気持ちになり走ることがイヤで仕方なくなった時期もありました。試合が近づくと、「今、肉離れしてくれたら、一年延ばせるのになぁ」という気持ちが湧いたこともありましたが、そんなときは、「どんなことも理想通りにはいかないものだ。この自分でベストを尽くすしかないんだ」と自分に言い聞かせて、また練習に戻りました。

100kmマラソンは、どんな理由があっても誰かに代わってもらうわけにはいきません。人生同様、自分の足でゴールを目指すしかないのです。私も大会の途中、70km地点で右足首が炎症を起こしてしまって、走ることが困難になってしまいましたが、沿道で応援してくれる皆さんやスタッフの皆さん、そして一緒にゴールを目指す他の選手の姿に励まされて100kmを完走することが出来ました。確かに走るのには自分の力ですが、私一人だったら走りきることは出来なかったかもしれません。

走ることが得意なことではなかったから、100kmが簡単に出来ることでなかったから、この半年が充実し、走りきったときに(たとえ完走できなくても)大きな喜びがあったと思うのです。

私はこれまで苦手なことを避け、コツコツとした努力をしてきましたが、苦手なことの中に「喜びの種」が隠されていることを知った大会となりました。

大きな一歩

先日、とても嬉しいことがありました。

それは地元の中学校から「全校生徒でトイレ掃除をしたいので、是非、力を貸してほしい」と連絡をいただいたのです。

私たちはこれまで10年程、自分達の研修のために学校をお借りしてトイレ掃除をしてきました。掃除が精神状態に良い影響を与えることはアンケート調査からも分かっていたので、是非、子ども達にも体験してほしいと願っていましたが、トイレ掃除というと先生方の負担も大きく、腰が引ける方もいるようで、この10年間はこちらからお願いして、させていただく状況が続いていました。

それが今回初めて学校から「全校生徒で掃除をしたい」と言ってもらえたのです。こんなに嬉しいことはありませんでした。

このところ教師の不祥事が続いて、学校や教師に対する信頼が揺らいでいるようですが、教師の多くは問題を起こす先生やサラリーマン先生ばかりではありません。中には自分の手で学校の便器を磨く立派な先生方も全国にはたくさんいるのです。

今年の2月に講師として呼んでいただいた「千葉の印旛掃除に学ぶ会」の世話人は、皆さん校長先生です。校長先生達が、真っ暗で雪の残る朝4時から会場へのプラカードの取り付けをされていたのです。例として適切かどうか分かりませんが、自分から勤めている会社のお客様のために朝4時にプラカードの取り付けをする社員さんがどれだけいるでしょう？

学校と親とが責任転嫁をし合っている子ども達は決して良くはなりません。私達が面倒なこと、嫌なことから逃げずに、子ども達と一緒に汗を流したら信頼関係も高まると思うのです。

7月29日～30日には、「静岡掃除に学ぶ会」の年次大会を行います。29日の講演会の講師は、アジアの貧困な子ども達をサポートするNPOを主催されている池間哲郎さんです。

私はいくつかの中学校で道徳の授業をさせていただいていますが、その際には必ず池間さんの記された「あなたの夢は何ですか？私の夢は大人になることです」の一部を紹介させていただいています。

日本は世界で最も豊かな国の一つになりましたが、私達は本当に幸せになったのでしょうか？是非、皆さんの力をお貸し下さい。

今月の活動情報

活動を早く知りたい方は、ホームページで、

- 8/3(木) 沼津建設的な生き方を学ぶ会 (原地区センター)
- 8/3(木) 「小さな会社だから幸せになれる」(松阪西部商工会女性部)
- 8/4(金) 「幸せに生きる秘訣」 (養心の会三重)
- 8/5(土) 「素敵な子どもを育てるために」(静岡教職員組合浜名支部)
- 8/5(土) 島田建設的な生き方を学ぶ会 (オリジン)
- 8/10(木) 沼津経営塾 (沼津市民文化センター)
- 8/12~15 リフレッシュ・セミナー (山中湖研修所)
- 8/15(火) 南アルプス建設的な生き方を学ぶ会
- 8/17(木) 東京掃除に学ぶ会 (東京都新宿)
- 8/17(木) 東京建設的な生き方を学ぶ会 (田町・コネクト)
- 8/18(金) 「マネージメント・ゲーム」 (田町・コネクト)
- 8/19~20 東京経営塾「マネージメント・ゲーム」(田町・コネクト)
- 8/21(月) 「素敵な子どもを育てるために」 (山梨・忍野幼稚園)
- 8/21(月) 山中湖建設的な生き方を学ぶ会 (安心サービス)
- 8/26~27 経営塾 (オリジン)
- 8/29(火) 浜松建設的な生き方を学ぶ会 (京丸園)